

ヒト肝臓及び腎臓オルガノイドを用いた創薬、医薬品開発研究

研究目的およびその内容

本研究では、創薬、医薬品開発を目的として、国立研究開発法人 国立がん研究センターとの共同研究の中で樹立されたヒト肝臓及び腎臓オルガノイドを用い、肝臓あるいは腎臓における薬物吸収や代謝、排泄のされ方に焦点を当てた培養モデルを作製し、医薬品およびその候補品の評価を行います。また、シーズ探索や医薬品候補品などの薬効評価、毒性評価、メカニズム解析などの研究を行います。本研究を行うにあたり、個別または網羅的な遺伝子発現解析や病理解析等、様々な検討を行うことがあります。

研究実施期間

2021年5月1日～2031年12月31日

研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、国立研究開発法人 国立がん研究センターとの共同研究で樹立されたヒト正常肝臓オルガノイド及びヒト正常腎臓オルガノイドを対象とし、当該共同研究の同意書にて二次利用に同意（本人あるいは代諾者）していただいた患者さんの試料のみを使用します。

国立研究開発法人 国立がん研究センターとの共同研究にて得られた（もしくはこれから得られる）データも利用いたします。

本研究における試料・情報提供の範囲、公開方法

本研究では、測定・解析の一部を下記に示す委託先にて行う予定です。そのため、検討で得られた細胞抽出液などの試料を委託先に提供します。本研究の結果は、国内外の中外製薬関連会社の間で共有されます。また、本研究の結果は、論文や学会、研究用データベースなどにより公開します。

委託先リスト

株式会社中外医科学研究所、タカラバイオ株式会社、株式会社鎌倉テクノサイエンス、株式会社ボゾリサーチセンター、公益財団法人実験動物中央研究所、株式会社フェニックスバイオ等

研究責任者

中外製薬株式会社 川合 重人

2022年6月21日